

2024年度（2025年3月期） 第2四半期（中間期）決算説明資料（IFRS）

IHI

2024年11月6日

株式会社 IHI



1. 2024年度第2四半期（中間期） 連結決算	
サマリー.....	4
ハイライト.....	5
実績概要.....	6
営業利益増減要因.....	7
連結財政状態計算書.....	9
キャッシュ・フローの状況.....	10
2. 2024年度 連結業績見通し	
ハイライト.....	12
見通し概要.....	13
営業利益増減要因.....	14
民間向け航空エンジンの売上収益およびスペアパーツ取扱高の推移....	16
中核事業におけるライフサイクルビジネス（LCB）の状況.....	17
3. Appendix.....	18

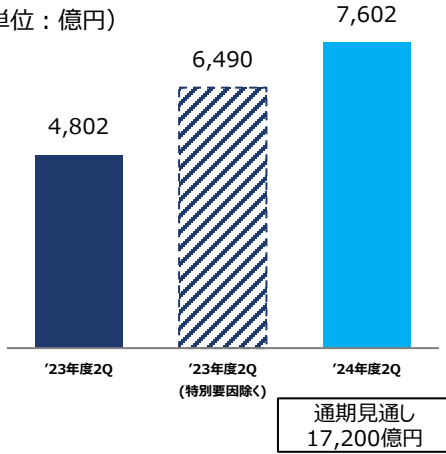
※各項目の金額は億円未満を切り捨てて表示しています。

2024年度第2四半期（中間期） 連結決算

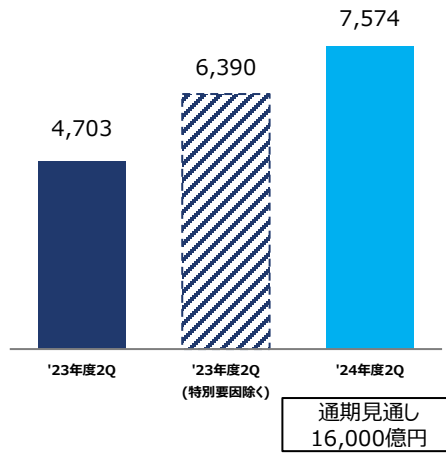
2024年度第2四半期（中間期） 連結決算 サマリー

受注高

(単位：億円)



売上収益



収益性関連指標

営業利益
772億円
(YoY +2,342億円)
(YoY +612億円)

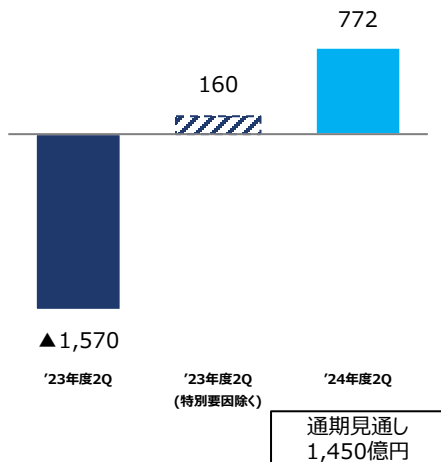
営業利益率
10.2%
(YoY +43.6pts)
(YoY +7.7pts)

EBITDA
1,123億円
(YoY +2,349億円)
(YoY +619億円)

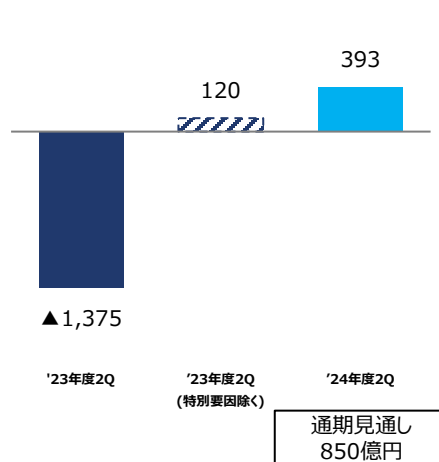
営業CF
▲74億円
(YoY +740億円)

※青文字：'23年度2Q特別要因除く

営業利益



親会社の所有者に帰属する中間利益



財務健全性指標

有利子負債
5,847億円
(対前年度末+103億円)

D/Eレシオ
1.36
(対前年度末▲0.07pts)

**親会社の所有者に
帰属する持分**
4,062億円
(対前年度末+302億円)

**親会社所有者帰属
持分比率**
19.3%
(対前年度末+1.4pts)

2024年度第2四半期（中間期） 連結決算 ハイライト

民間向け航空エンジンの伸びにより、第2四半期（中間期）として過去最高益を更新

（主なポイント）

受注高		<ul style="list-style-type: none">民間向け航空エンジンにおけるスペアパーツや防衛事業関連の部品などが大きく増加アジア拠点EPC（※）で、前期大型案件受注の反動により減少
売上収益		<ul style="list-style-type: none">民間向け航空エンジンにおいて、V2500、GEnxを中心に販売が増加アジア拠点EPCにおける大型発電所プロジェクトの工事進捗による増収
営業利益		<ul style="list-style-type: none">民間向け航空エンジンのスペアパーツ販売の増加や、整備期間の長期化に伴う整備費用の発生遅れにより、大きく増益車両過給機は、欧州での事業構造改革費用や、販売価格交渉の進捗遅れが続いたことにより減益
営業キャッシュ・フロー		<ul style="list-style-type: none">EBITDAの大幅な伸びのほか、工事代金の回収が順調に進捗したことで改善
PW1100G-JM エンジン追加検査 プログラム影響		<ul style="list-style-type: none">影響の見積り総額（USD）に変動なし。期末円高により円換算額が減少地上駐機に対する補償に係る契約締結が進み、支払が進捗

（※）アジア拠点EPC（Engineering / Procurement / Construction）

：アジア、中東、アフリカにおける各種電力・産業プラントの建設、保守・メンテナンス事業

2024年度第2四半期（中間期） 連結決算 実績概要

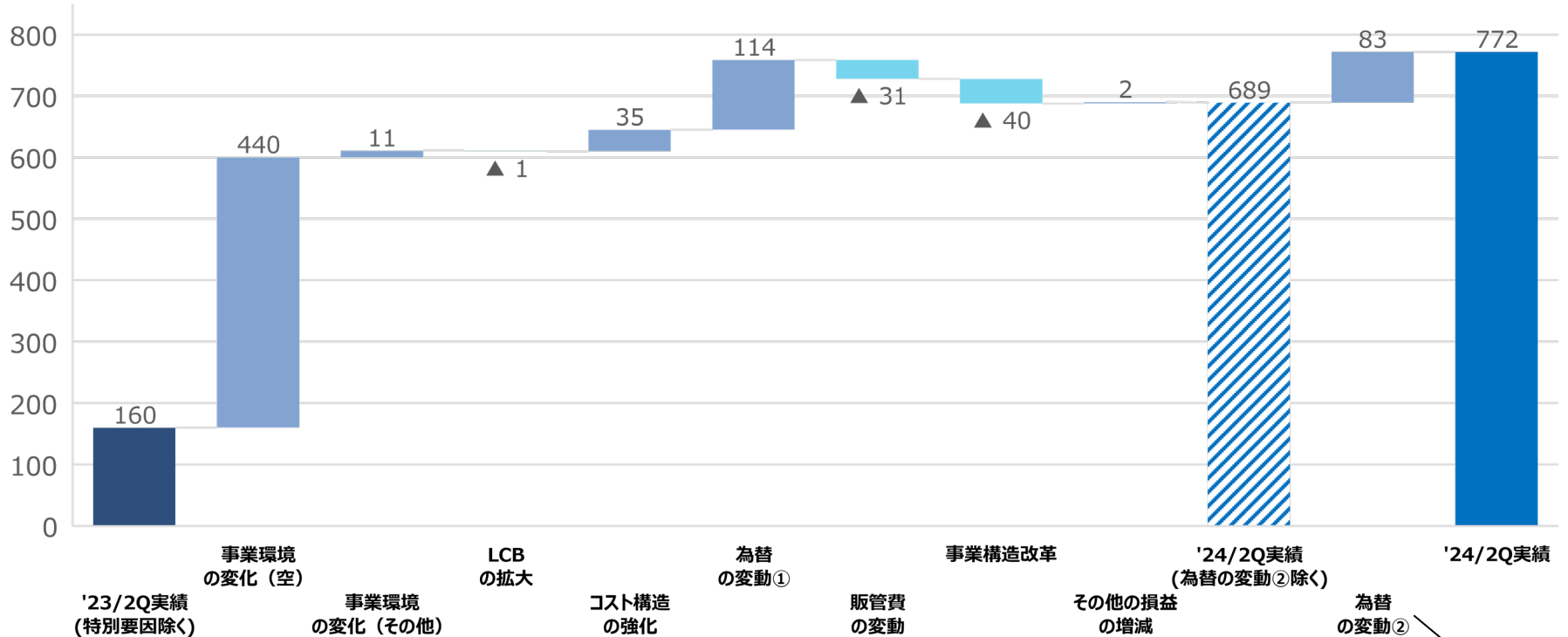
(単位：億円)		'23年度2Q ①	'23年度2Q特別要因		'23年度2Q (特別要因除く) ②	'24年度2Q ③	増減 ③－①	増減 ③－②
			PW1100G 影響	E&C和解 影響				
受注高		4,802	▲1,541	▲146	6,490	7,602	(58.3%) 2,799	(17.1%) 1,111
売上収益		4,703	▲1,541	▲146	6,390	(※) 7,574	(61.1%) 2,871	(18.5%) 1,183
営業利益（率）		(▲33.4%) ▲1,570	▲1,583	▲146	(2.5%) 160	(10.2%) 772	2,342	612
金融損益等	為替差損益	76	-	-	76	▲169	▲246	▲246
	持分法による投資損益	17	-	-	17	44	27	27
	その他の金融損益	▲33	-	-	▲33	▲20	13	13
	合計	59	-	-	59	▲146	▲205	▲205
税引前中間利益（率）		(▲32.1%) ▲1,510	▲1,583	▲146	(3.4%) 219	(8.3%) 626	2,137	407
親会社の所有者に帰属する中間利益（率）		(▲29.3%) ▲1,375	▲1,349	▲146	(1.9%) 120	(5.2%) 393	1,768	272
EBITDA（率）		(▲26.1%) ▲1,226	▲1,583	▲146	(7.9%) 503	(14.8%) 1,123	2,349	619
営業キャッシュ・フロー		▲814	-	-	▲814	▲74	740	740
売上平均レート（USD）		140.62	-	-	140.62	153.38	12.76	12.76
期末日レート（USD）		149.44	-	-	149.44	142.62	▲6.82	▲6.82

(※) PW1100G-JMエンジン追加検査プログラムに関する為替評価替えによる影響 + 83億円を含む

2024年度第2四半期（中間期） 連結決算 営業利益増減要因

民間向け航空エンジンを中心に前年同期比で大幅な増益

(単位：億円)



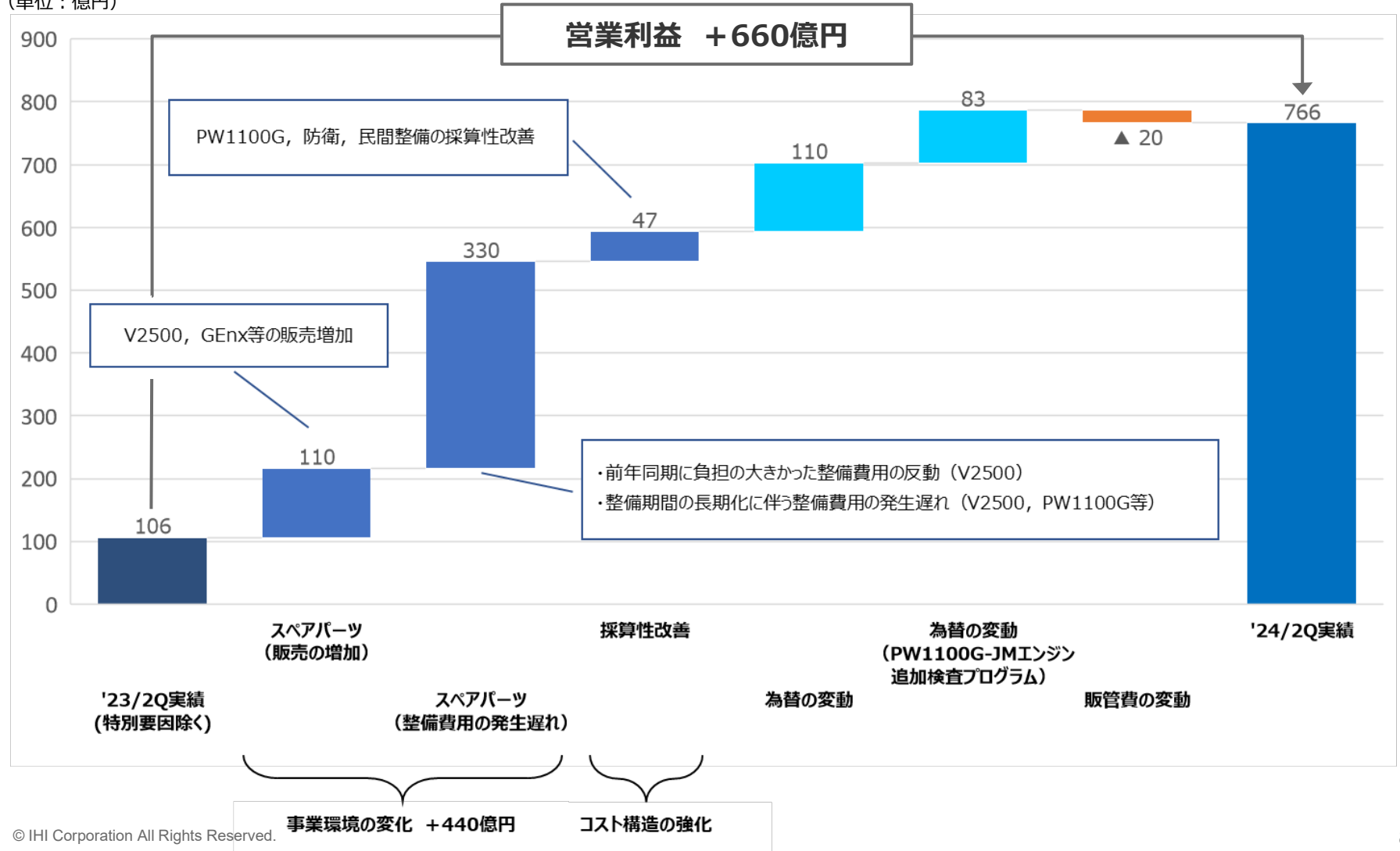
	売上収益			営業利益		
	'23年度2Q (特別要因除く)	'24年度2Q	増減	'23年度2Q (特別要因除く)	'24年度2Q	増減
資源・エネルギー・環境	1,879	2,100	221	65	78	12
社会基盤	715	671	▲43	▲13	▲30	▲17
産業システム・汎用機械	2,136	2,273	137	30	▲10	▲41
航空・宇宙・防衛	1,634	2,476	842	106	766	660
その他	26	53	26	▲29	▲30	▲1
合計	6,390	7,574	1,183	160	772	612

前期に計上した
PW1100G-JMエンジン
追加検査プログラム関連

2024年度第2四半期（中間期） 連結決算 営業利益増減要因（航空・宇宙・防衛）

スペアパーツ販売の増加や、整備期間の長期化に伴う
整備費用の発生遅れなどにより大幅増益

(単位：億円)



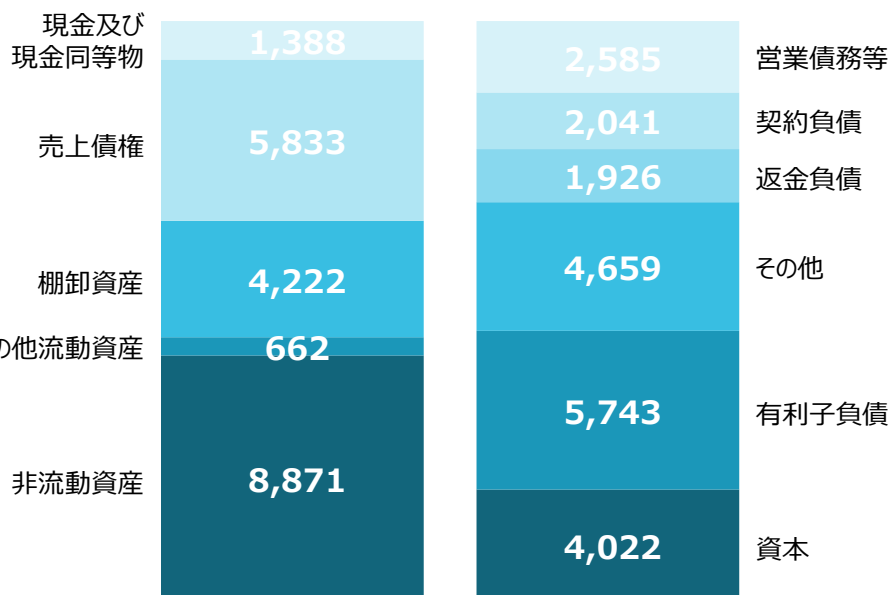
2024年度第2四半期（中間期） 連結決算

連結財政状態計算書

'23年度末

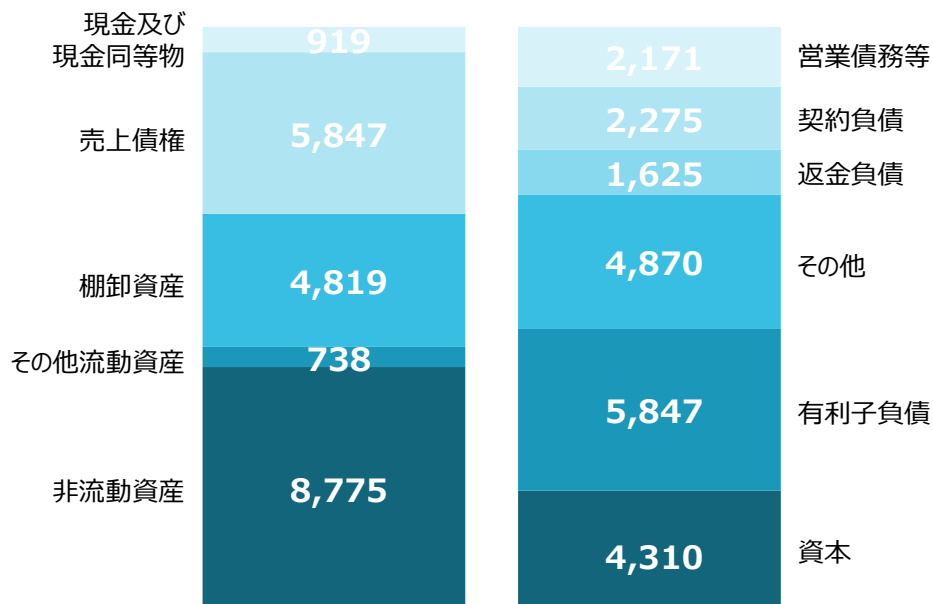
資産合計：20,978億円
D/Eレシオ：1.43倍
親会社所有者帰属持分比率：17.9%

(単位：億円)



'24年度2Q末

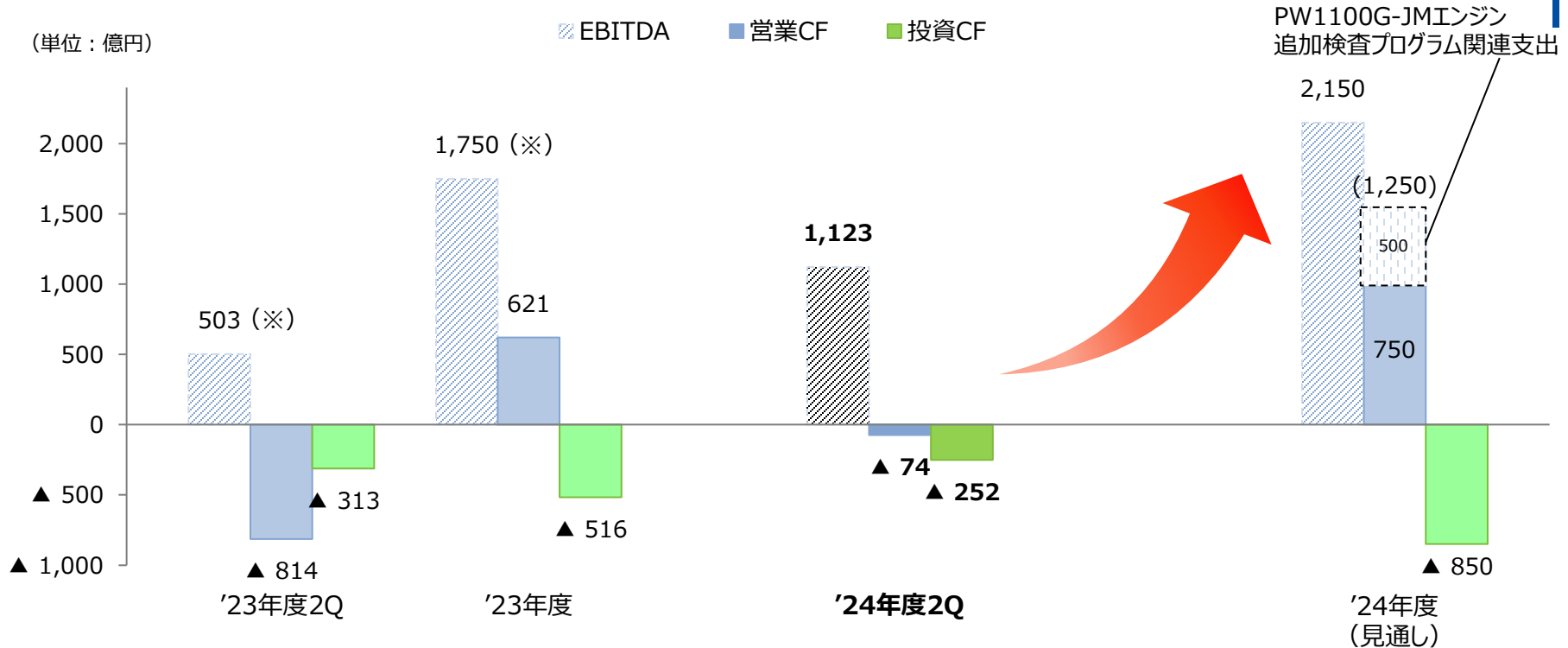
資産合計：21,099億円（+121億円）
D/Eレシオ：1.36倍（▲0.07pts）
親会社所有者帰属持分比率：19.3%（+1.4pts）



<主な変動要因>

- 資産：民間向け航空エンジンにおける増産対応や、防衛事業の進捗により棚卸資産が増加
- 負債：カーボンソリューション案件の前受入金などによる契約負債の増加の一方、PW1100G-JMエンジン追加検査プログラム関連の支払や為替評価替（円高効果）により返金負債が減少
- 資本：当中間利益により親会社所有者帰属持分比率が改善

2024年度第2四半期（中間期） 連結決算 キャッシュ・フローの状況



(※) PW1100G-JMエンジン追加検査プログラム、IHI E&C訴訟和解影響に関する損失計上を除く

<主な変動要因（対前年同期）>

- 営業CF：EBITDAの大きな伸びや、工事代金の回収進捗により、大幅に改善
年度前半は航空・宇宙・防衛セグメントを中心に棚卸資産が増加する傾向があり、想定通り年度後半の完成・引き渡しを通じて運転資本の圧縮を進め、営業CFの見通しを達成していく
- 投資CF：概ね想定どおりの進捗。変革の達成に繋がる投資を加速する

2024年度 連結業績見通し

過去最高益となる営業利益見通しを、1,100億円から1,450億円へ上方修正

(※) 前回見通しは、2024年8月6日公表の業績予想数値。以下のスライドも同じ。

(主なポイント)

受注高	<ul style="list-style-type: none">アジア拠点EPCにおける大型案件後ろ倒しにより減少するが、防衛・宇宙事業における増加が見込まれるため、前回見通しを維持
売上収益	<ul style="list-style-type: none">各セグメントとも前回見通しを維持民間向け航空エンジンはエンジン本体の販売台数減が見込まれる一方、スペアパーツ販売増
営業利益	<ul style="list-style-type: none">民間向け航空エンジンは、採算の厳しい機種エンジン本体台数減少による増益効果のほか、スペアパーツ販売増、整備費用の発生遅れにより増益中核事業においては、請負金増額遅れや一部事業の採算性低下による減益を織り込み事業ポートフォリオ改革の推進に伴う事業構造改革費用については、見通し総額に変更なし
キャッシュ・フロー	<ul style="list-style-type: none">営業CFは、営業利益上方修正による改善が見込まれるものの、年度の運転資本への影響はさらに精査する必要があることから、前回見通しを維持投資CFは、政策保有株式に関する基本方針の変更を受けて、年度後半に株式売却の進捗による改善を織り込み
配当	<ul style="list-style-type: none">当期利益の上方修正に伴い、期末配当予想を50円から70円に見直し

2024年度 連結業績見通し 見通し概要

(単位：億円)	'23年度	'24年度 前回見通し	'24年度 今回見通し	増減 今回 - 前回
受注高	13,768	17,200	17,200	-
売上収益	13,225	16,000	16,000	-
営業利益（率）	(▲5.3%) ▲701	(6.9%) 1,100	(9.1%) 1,450	350
税引前当期利益（率）	(▲5.5%) ▲722	(6.3%) 1,000	(7.8%) 1,250	250
親会社の所有者に帰属する当期利益（率）	(▲5.2%) ▲682	(3.8%) 600	(5.3%) 850	250
配当（年間（中間/期末））	100円/株 (50円/50円)	100円/株 (50円/50円)	120円/株 (50円/70円)	20円/株 (-/20円)
EBITDA（率）	(0.0%) 6	(11.3%) 1,800	(13.4%) 2,150	350
ROIC	▲4.9%	8.3%	10.5%	2.2pts
ROE	▲16.9%	15.5%	21.2%	5.7pts
前提為替レート（USD）	145.27	140.00	140.00	-

（参考）為替感応度（為替相場の1円変動による、第3四半期以降の営業利益への影響額）：USD 7億円

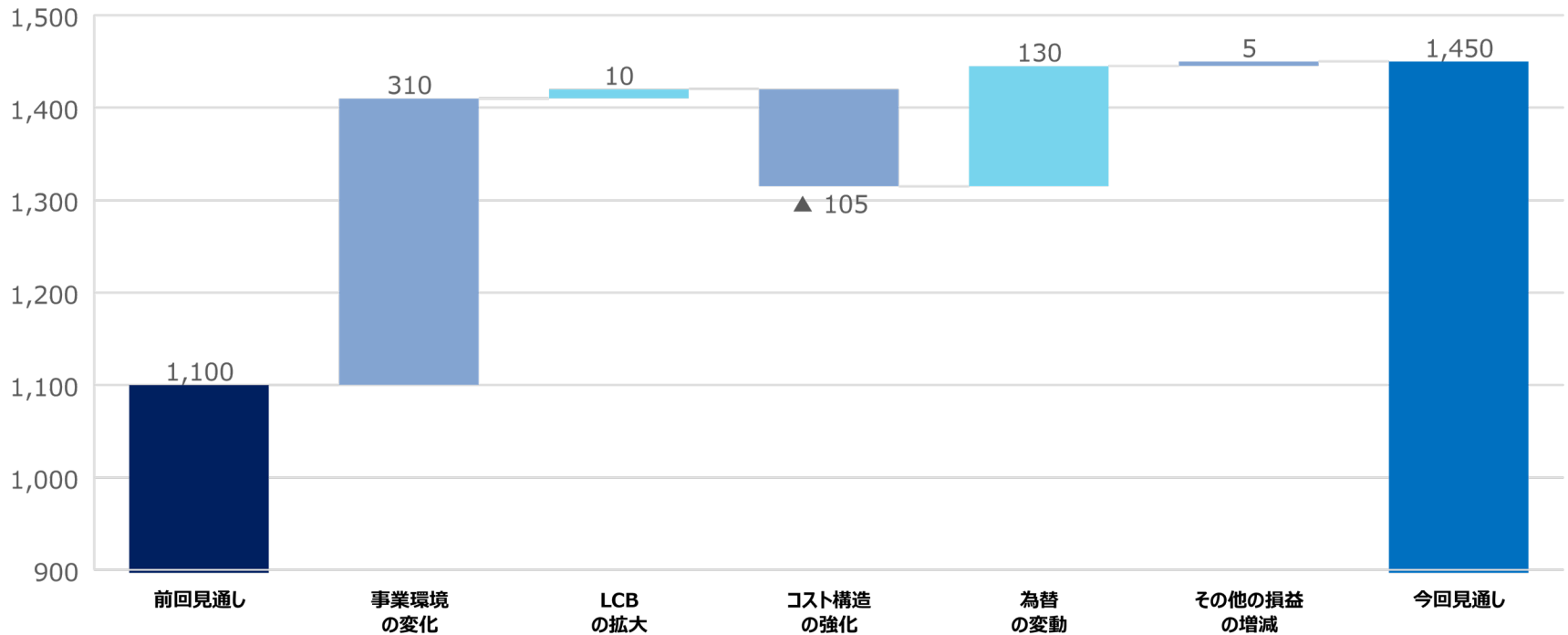
※PW1100G-JMエンジン追加検査プログラムの為替影響は、前年度末（151.26円/USD）の水準で変更なし
（為替感応度は当該影響を除く）

(単位：億円)	'23年度	'24年度 前回見通し	'24年度 今回見通し	増減 今回 - 前回
営業キャッシュ・フロー	621	750	750	-
投資キャッシュ・フロー	▲516	▲900	▲850	50
フリーキャッシュ・フロー	104	▲150	▲100	50

2024年度 連結業績見通し

営業利益増減要因

(単位：億円)

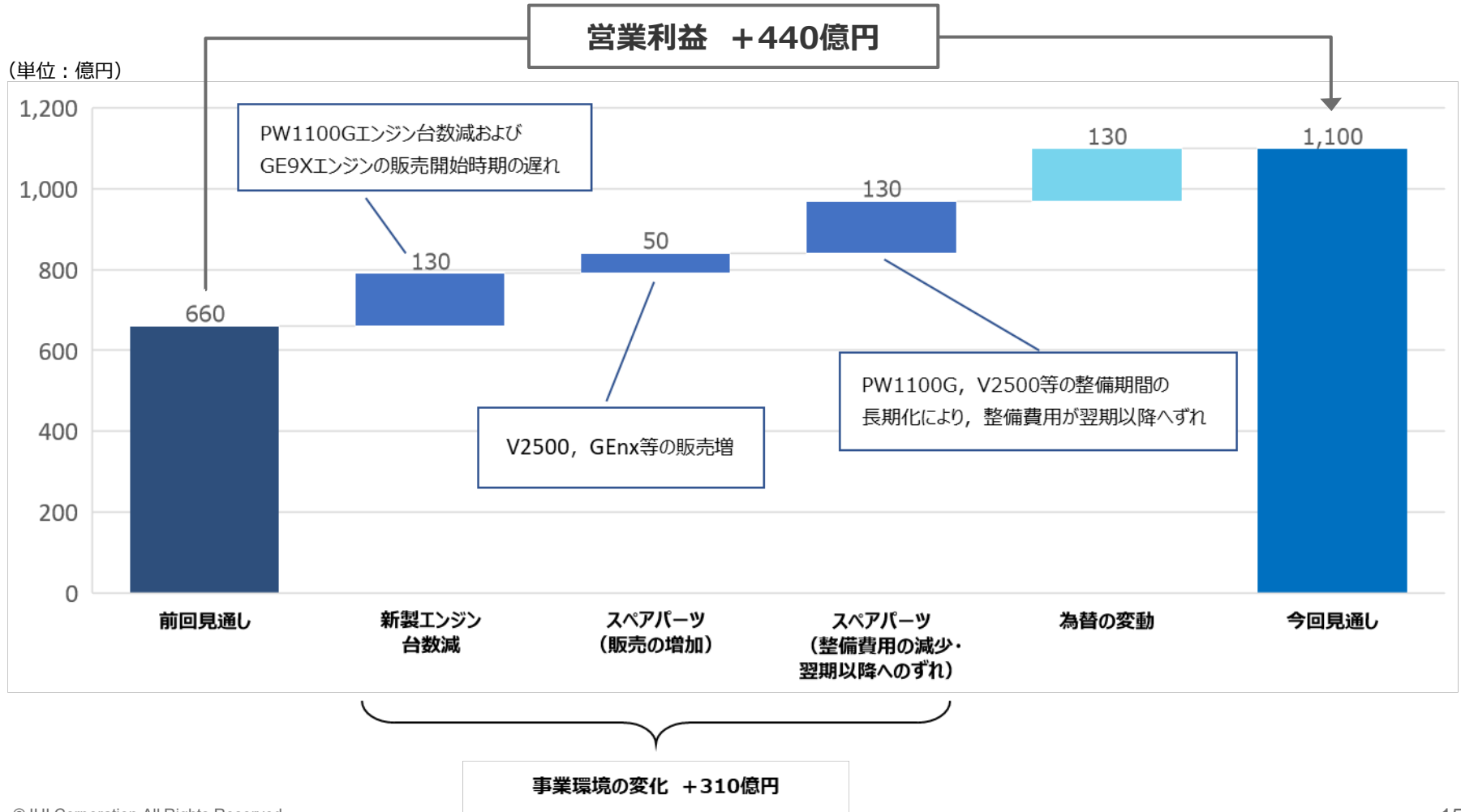


	受注高		売上収益		営業利益	
	前回見通し	今回見通し	前回見通し	今回見通し	前回見通し	今回見通し
資源・エネルギー・環境	4,000	3,800	4,200	4,200	280	250
社会基盤	1,800	1,800	1,700	1,700	210	180
産業システム・汎用機械	4,800	4,800	4,700	4,700	220	150
航空・宇宙・防衛	6,600	6,800	5,400	5,400	660	1,100
その他	0	0	0	0	▲270	▲230
合計	17,200	17,200	16,000	16,000	1,100	1,450

2024年度 連結業績見通し

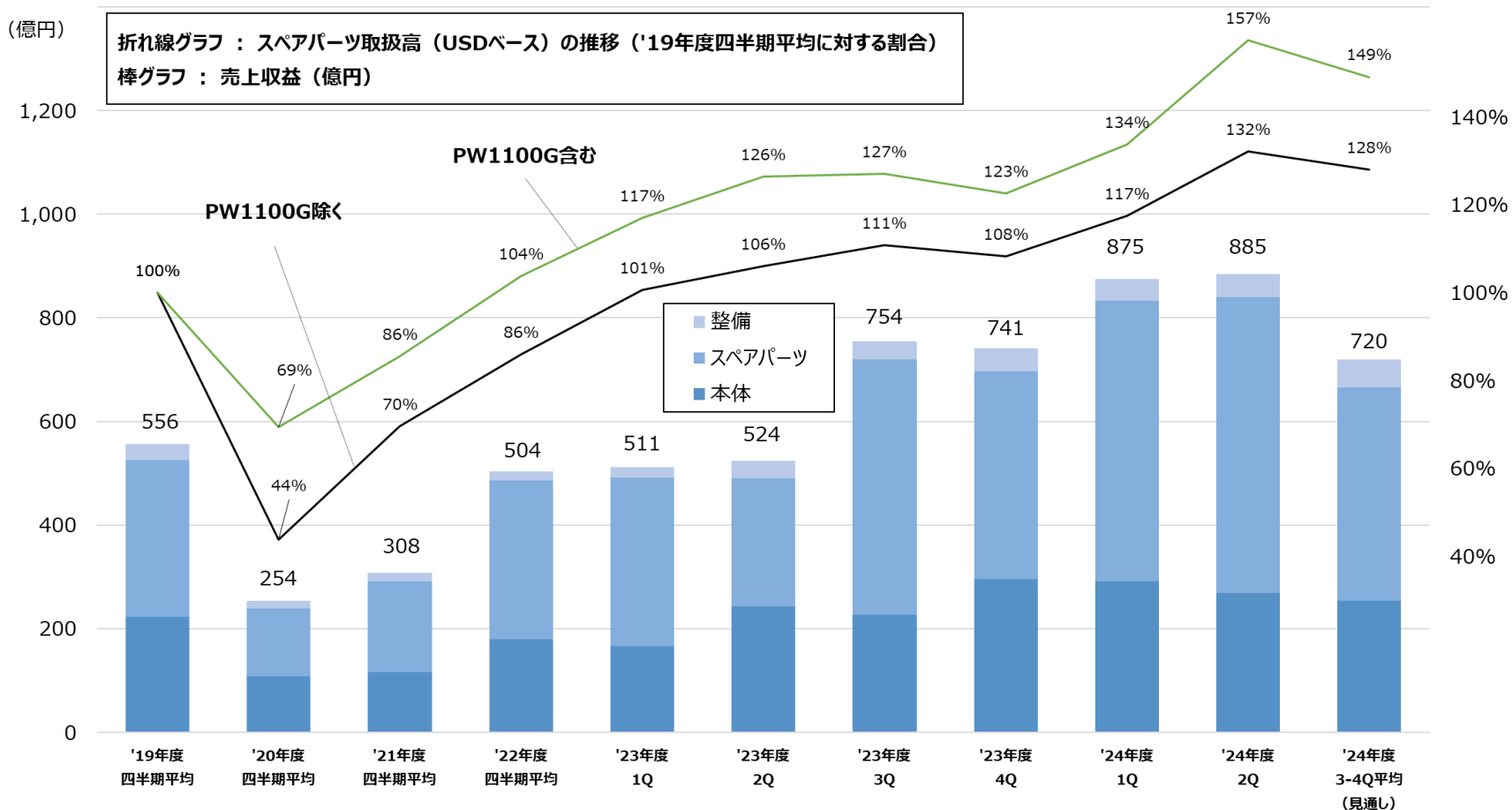
営業利益増減要因（航空・宇宙・防衛）

新製エンジンの販売台数減少やスペアパーツ整備費用の減少・翌期への発生ずれなどにより、前回見通しから440億円上方修正



2024年度 連結業績見通し

民間向け航空エンジンの売上収益およびスペアパーツ取扱高の推移



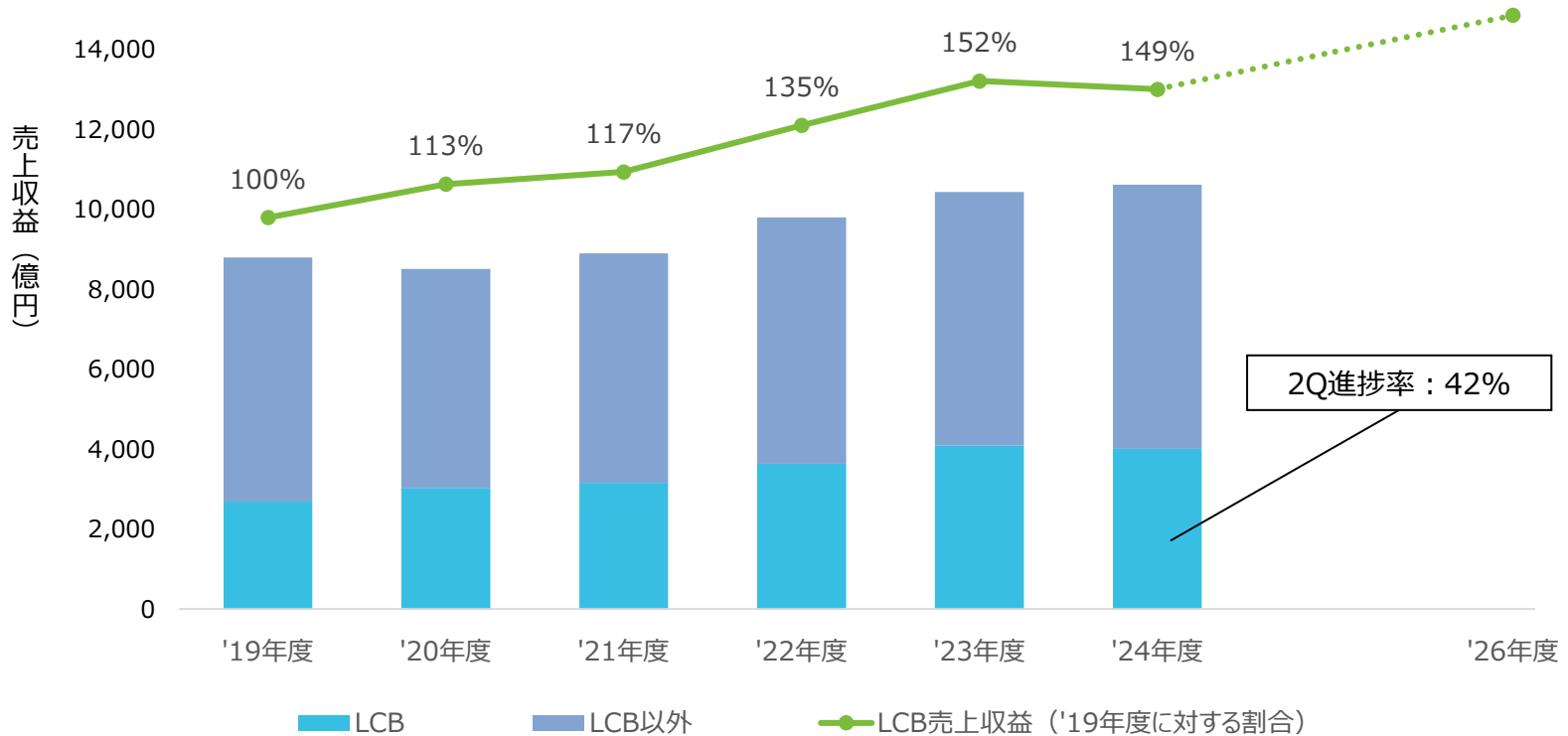
PW1100G-JMエンジン追加検査プログラム影響を除く

	本体比率	スペアパーツ比率
'23年度実績	37%	58%
'24年度2Q累計実績	32%	63%
'24年度見通し	33%	60%

2024年度 連結業績見通し

中核事業におけるライフサイクルビジネス（LCB）の状況

(※) 中核事業：資源・エネルギー・環境，社会基盤，産業システム・汎用機械分野



<ポイント>

- LCBは安定的に拡大する見込みだが，当年度は案件の端境期にあり一時的に減少
- 当中間期においては，カーボンソリューションの案件減少はあるものの，概ね予定どおり
- 稼ぐ力の土台として，'25年度以降も安定的な利益創出による財務基盤強化への貢献を見込む

Appendix

報告セグメント別内訳 (2023年度2Q vs 2024年度2Q)

(単位：億円)	受注高			受注残高			売上収益			営業利益(率)		
	'23年度2Q	'24年度2Q	増減	'23年度末	'24年度2Q末	増減	'23年度2Q	'24年度2Q	増減	'23年度2Q	'24年度2Q	増減
資源・エネルギー・環境	1,617	1,415	▲201	4,834	4,077	▲757	1,732	2,100	367	▲81 (▲4.7%)	78 (3.7%)	159 (8.4pts)
社会基盤	591	715	124	2,102	2,126	23	715	671	▲43	▲13 (▲1.8%)	▲30 (▲4.5%)	▲17 (▲2.7pts)
産業システム・汎用機械	2,292	2,424	132	2,054	2,187	133	2,136	2,273	137	30 (1.4%)	▲10 (▲0.5%)	▲41 (▲1.9pts)
航空・宇宙・防衛	246	3,028	2,782	4,509	5,042	532	93	2,476	2,383	▲1,477 (▲1583.6%)	766 (30.9%)	2,243 (1614.5pts)
報告セグメント合計	4,747	7,584	2,837	13,500	13,432	▲67	4,676	7,521	2,844	▲1,540	803	2,344
その他	291	264	▲27	223	230	7	231	239	7	13	9	▲4
調整額	▲236	▲246	▲10	-	-	-	▲205	▲186	19	▲43	▲40	2
合計	4,802	7,602	2,799	13,723	13,662	▲60	4,703	7,574	2,871	▲1,570 (▲33.4%)	772 (10.2%)	2,342 (43.6pts)
海外	1,628	3,770	2,142	3,441	2,600	▲841	1,788	4,532	2,743			
海外比率	34%	50%	16pts	25%	19%	▲6pts	38%	60%	22pts			

報告セグメント別内訳 (2023年度2Q vs 2024年度2Q)

※'23年度2Q特別要因を除く

(単位：億円)	受注高			受注残高			売上収益			営業利益(率)		
	'23年度2Q	'24年度2Q	増減	'23年度末	'24年度2Q末	増減	'23年度2Q	'24年度2Q	増減	'23年度2Q	'24年度2Q	増減
資源・エネルギー・環境	1,763	1,415	▲348	4,834	4,077	▲757	1,879	2,100	221	65 (3.5%)	78 (3.7%)	12 (0.2pts)
社会基盤	591	715	124	2,102	2,126	23	715	671	▲43	▲13 (▲1.8%)	▲30 (▲4.5%)	▲17 (▲2.7pts)
産業システム・汎用機械	2,292	2,424	132	2,054	2,187	133	2,136	2,273	137	30 (1.4%)	▲10 (▲0.5%)	▲41 (▲1.9pts)
航空・宇宙・防衛	1,787	3,028	1,241	4,509	5,042	532	1,634	2,476	842	106 (6.5%)	766 (30.9%)	660 (24.4pts)
報告セグメント合計	6,435	7,584	1,149	13,500	13,432	▲67	6,364	7,521	1,156	189	803	613
その他	291	264	▲27	223	230	7	231	239	7	13	9	▲4
調整額	▲236	▲246	▲10	-	-	-	▲205	▲186	19	▲43	▲40	2
合計	6,490	7,602	1,111	13,723	13,662	▲60	6,390	7,574	1,183	160 (2.5%)	772 (10.2%)	612 (7.7pts)
海外	3,315	3,770	454	3,441	2,600	▲841	3,476	4,532	1,055			
海外比率	51%	50%	▲1pts	25%	19%	▲6pts	54%	60%	6pts			

報告セグメント別営業利益増減要因（2023年度2Q vs 2024年度2Q）

※'23年度2Q特別要因を除く

(単位：億円)	事業環境の 変化	LCBの 拡大	コスト構造の 強化	為替の 変動	販管費の 変動	事業構造 改革	その他の 損益の増減	合計
資源・エネルギー・環境	7	▲11	18	4	▲6			12
社会基盤	▲10		▲3				▲4	▲17
産業システム・汎用機械	14	10	▲23		▲8	▲40	6	▲41
航空・宇宙・防衛	440		47	110	▲20			660
PW1100G-JMエンジン 追加検査プログラム為替影響				83				
報告セグメント合計	451	▲1	39	197	▲34	▲40	2	613
その他			▲4					▲4
調整額					3			2
合計	451	▲1	35	197	▲31	▲40	2	612

報告セグメント別・要因別の数値の合計と合計欄の数値は四捨五入の関係で一致しない場合がある。

販管費の変動とその他の損益の増減では為替の変動などを除いている。

報告セグメント別内訳 (前回見通し vs 今回見通し)

(単位：億円)	受注高				売上収益				営業利益			
	'23年度	'24年度 前回見通し	'24年度 今回見通し	増減 今回 - 前回	'23年度	'24年度 前回見通し	'24年度 今回見通し	増減 今回 - 前回	'23年度	'24年度 前回見通し	'24年度 今回見通し	増減 今回 - 前回
資源・エネルギー・環境	3,101	4,000	3,800	▲200	4,049	4,200	4,200	-	177 (4.4%)	280 (6.7%)	250 (6.0%)	▲30 (▲0.7pts)
社会基盤	1,593	1,800	1,800	-	1,709	1,700	1,700	-	150 (8.8%)	210 (12.4%)	180 (10.6%)	▲30 (▲1.8pts)
産業システム・汎用機械	4,748	4,800	4,800	-	4,661	4,700	4,700	-	127 (2.7%)	220 (4.7%)	150 (3.2%)	▲70 (▲1.5pts)
航空・宇宙・防衛	4,237	6,600	6,800	200	2,704	5,400	5,400	-	▲1,028 (▲38.1%)	660 (12.2%)	1,100 (20.4%)	440 (8.2pts)
報告セグメント合計	13,681	17,200	17,200	-	13,125	16,000	16,000	-	▲573	1,370	1,680	310
その他	584	500	500	-	560	500	500	-	44	10	10	-
調整額	▲496	▲500	▲500	-	▲460	▲500	▲500	-	▲172	▲280	▲240	40
合計	13,768	17,200	17,200	-	13,225	16,000	16,000	-	▲701 (▲5.3%)	1,100 (6.9%)	1,450 (9.1%)	350 (2.2pts)

報告セグメント別営業利益増減要因 (前回見通し vs 今回見通し)

(単位：億円)	事業環境の 変化	LCBの 拡大	コスト構造の 強化	為替の 変動	販管費の 変動	事業構造 改革	その他の 損益の増減	合計
資源・エネルギー・環境		10	▲40					▲30
社会基盤			▲30					▲30
産業システム・汎用機械			▲35			▲40	5	▲70
航空・宇宙・防衛	310			130				440
報告セグメント合計	310	10	▲105	130	-	▲40	5	310
その他								-
調整額						40		40
合計	310	10	▲105	130	-	-	5	350

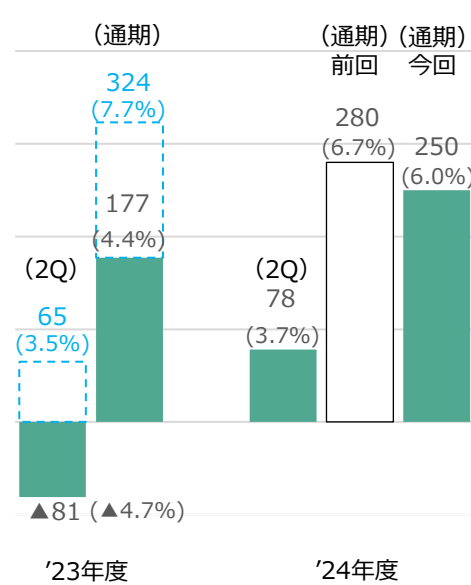
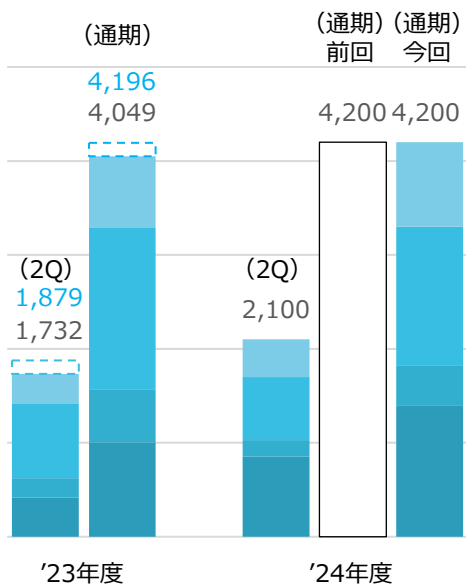
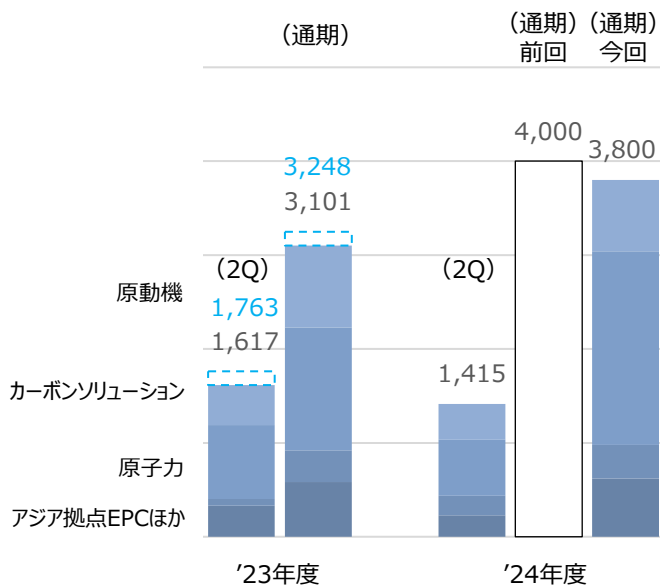
報告セグメント別決算実績・見通し <資源・エネルギー・環境>

(単位：億円)

受注高

売上収益

営業利益



受注高

売上収益

ポイント (前期特別要因を除く)

	'23/2Q	'23通期	'24/2Q	'24通期 今回見通し
原動機	427	872	381	760
カーボンソリューション	785	1,309	595	2,060
原子力	72	336	210	360
アジア拠点EPCほか	333	584	229	620
合計	1,617	3,101	1,415	3,800

	'23/2Q	'23通期	'24/2Q	'24通期 今回見通し
原動機	313	760	401	900
カーボンソリューション	795	1,718	671	1,480
原子力	210	568	174	420
アジア拠点EPCほか	414	1,003	854	1,400
合計	1,732	4,049	2,100	4,200

受注高 (実績)

・アジア拠点EPCで前期に受注した大型案件の反動により減少

売上収益 (実績)

・カーボンソリューションで減収となったものの、原動機やアジア拠点EPCで増収

営業利益 (実績)

・カーボンソリューションで減益となったものの、原動機での増収などにより増益

通期見通し

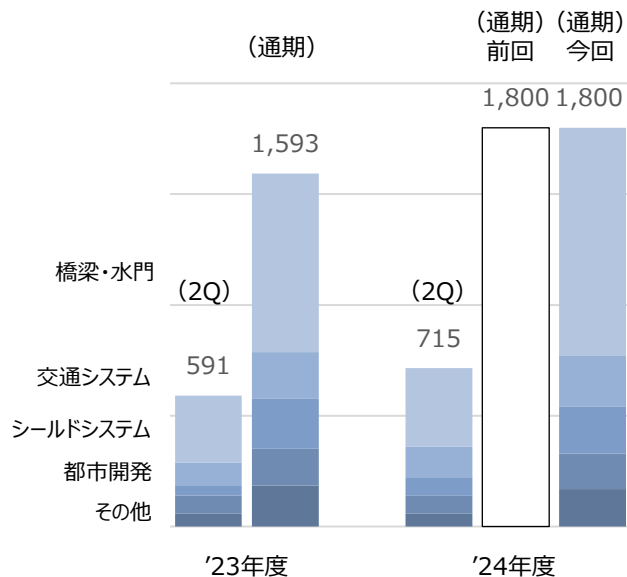
・アジア拠点EPCで大型案件後ろ倒しにより受注高減少
・カーボンソリューションで請負金増額遅れにより減益

※グラフ内青文字 前期IHI E&C訴訟和解影響を除く

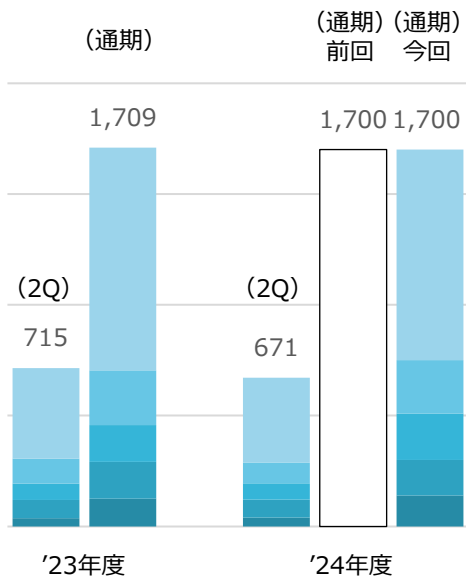
報告セグメント別決算実績・見通し <社会基盤>

(単位：億円)

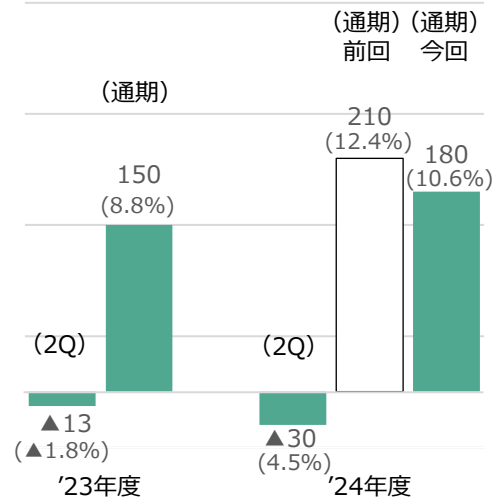
受注高



売上収益



営業利益



受注高

売上収益

ポイント

	受注高				売上収益			
	'23/2Q	'23通期	'24/2Q	'24通期 今回見通し	'23/2Q	'23通期	'24/2Q	'24通期 今回見通し
橋梁・水門	301	805	354	1,030	409	1,005	382	950
交通システム	103	211	138	230	113	247	94	240
シールドシステム	46	225	84	210	73	165	74	210
都市開発	83	166	81	160	83	166	81	160
その他	58	186	58	170	37	126	40	140
合計	591	1,593	715	1,800	715	1,709	671	1,700

受注高 (実績)

・橋梁・水門，シールドシステムを中心に増加

売上収益 (実績)

・橋梁・水門や交通システムで減収

営業利益 (実績)

・交通システムの海外大型工事での前期採算改善の反動などにより減益

通期見通し

・橋梁・水門，交通システムで採算性低下により減益

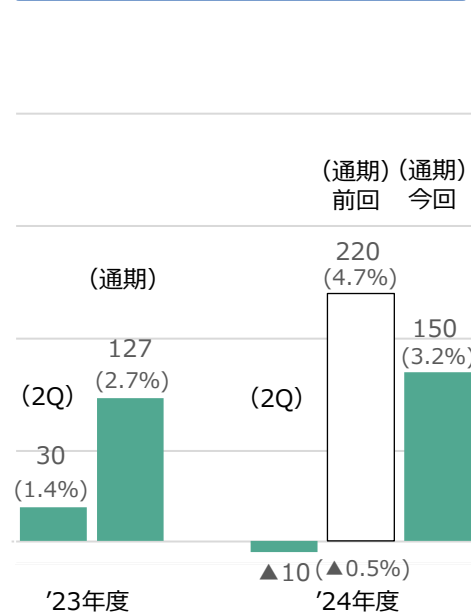
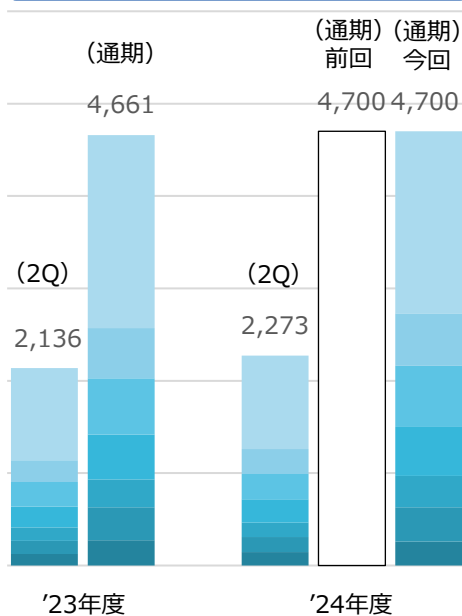
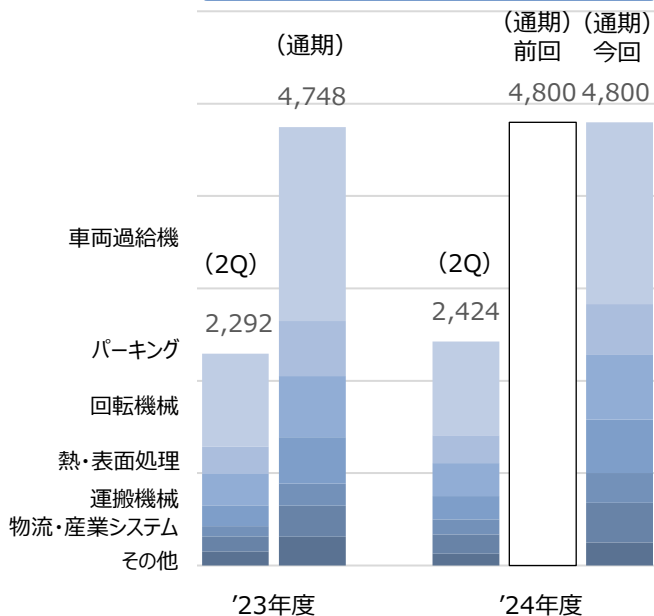
報告セグメント別決算実績・見通し <産業システム・汎用機械>

(単位：億円)

受注高

売上収益

営業利益



受注高

売上収益

ポイント

	受注高				売上収益			
	'23/2Q	'23通期	'24/2Q	'24通期 今回見通し	'23/2Q	'23通期	'24/2Q	'24通期 今回見通し
車両過給機	1,005	2,103	1,015	1,970	998	2,090	1,014	1,970
パーキング	296	595	300	550	235	546	269	570
回転機械	341	660	359	700	266	609	275	660
熱・表面処理	224	503	252	580	224	483	252	530
運搬機械	112	241	164	320	147	304	157	340
物流・産業システム	161	334	208	430	141	355	160	370
その他	153	312	126	250	125	274	146	260
合計	2,292	4,748	2,424	4,800	2,136	4,661	2,273	4,700

受注高 (実績)

・運搬機械や物流・産業システムで増加

売上収益 (実績)

・パーキングや熱・表面処理などで増収

営業利益 (実績)

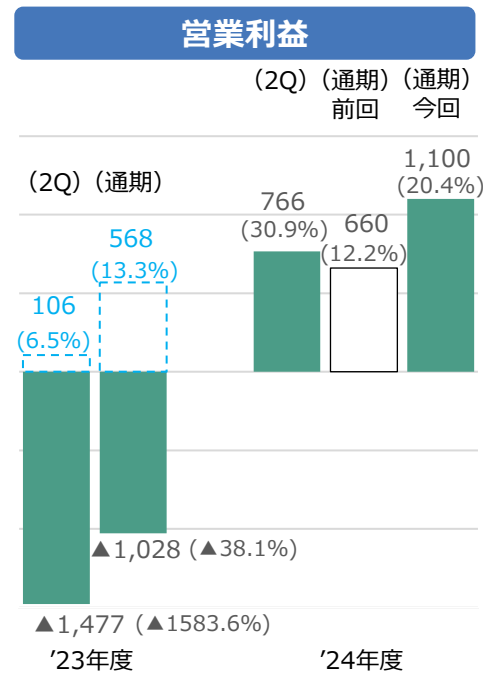
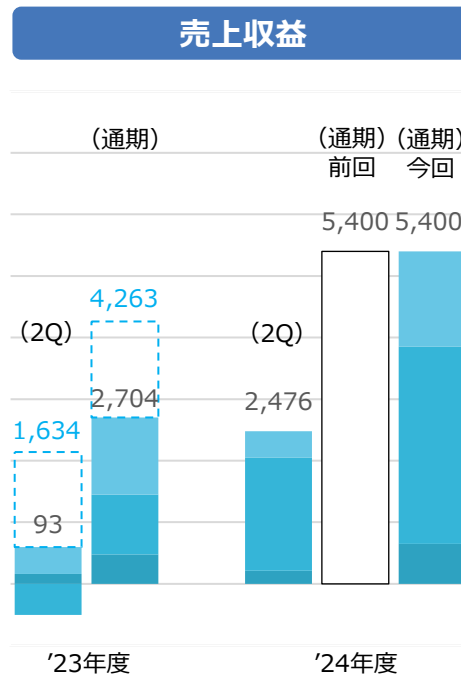
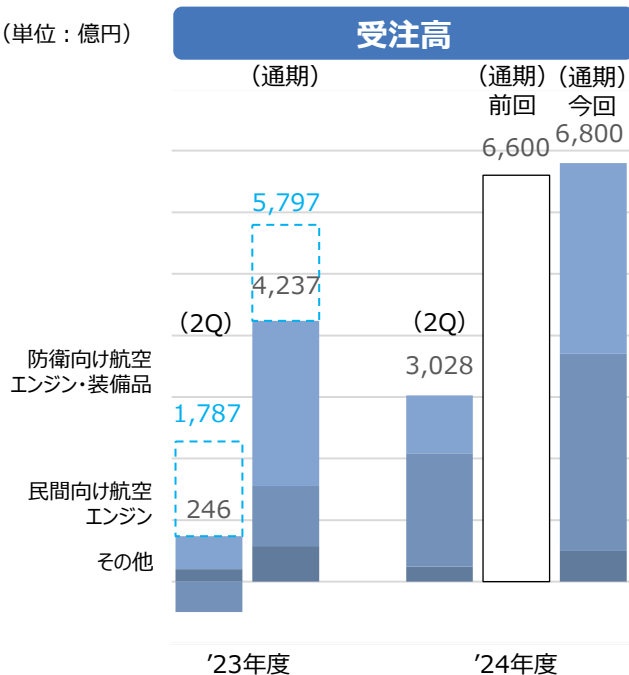
・車両過給機で事業構造改革費用を計上したことや、販売価格交渉の進捗遅れなどにより減益

通期見通し

・車両過給機で事業構造改革費用を計上したことや、車両過給機を中心に採算性が低下したことにより減益

報告セグメント別決算実績・見通し <航空・宇宙・防衛>

(単位：億円)



	受注高				売上収益			
	'23/2Q	'23通期	'24/2Q	'24通期 今回見通し	'23/2Q	'23通期	'24/2Q	'24通期 今回見通し
防衛向け航空エンジン・装備品	533	2,684	941	3,100	436	1,254	422	1,550
民間向け航空エンジン	▲493	973	1,843	3,200	▲505	970	1,843	3,200
その他	206	580	244	500	162	480	211	650
合計	246	4,237	3,028	6,800	93	2,704	2,476	5,400

ポイント (前期特別要因を除く)

受注高・売上収益 (実績)

- 民間向け航空エンジンのスペアパーツや防衛事業のエンジン部品などの販売増により、増加

営業利益 (実績)

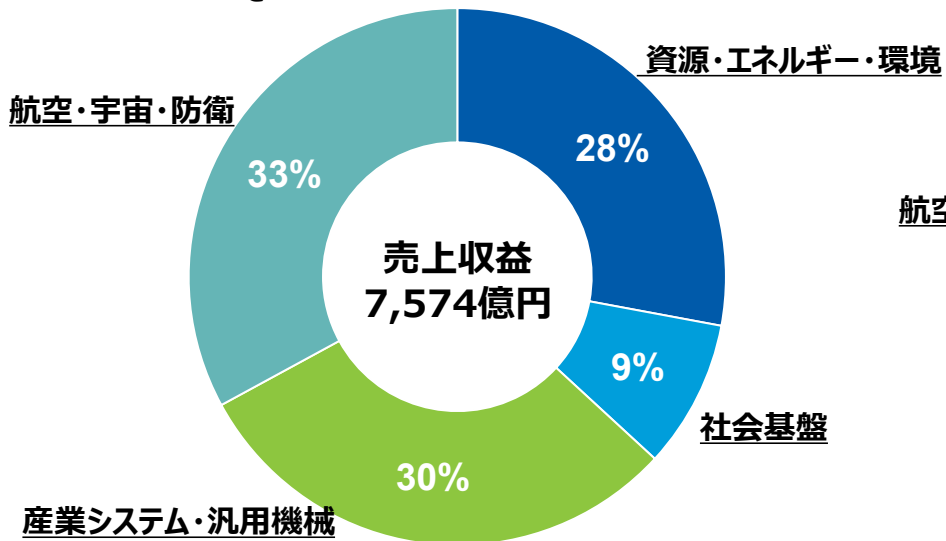
- 民間向け航空エンジンでスペアパーツ販売が増加したほか、整備費用の発生遅れの影響により増益

通期見通し

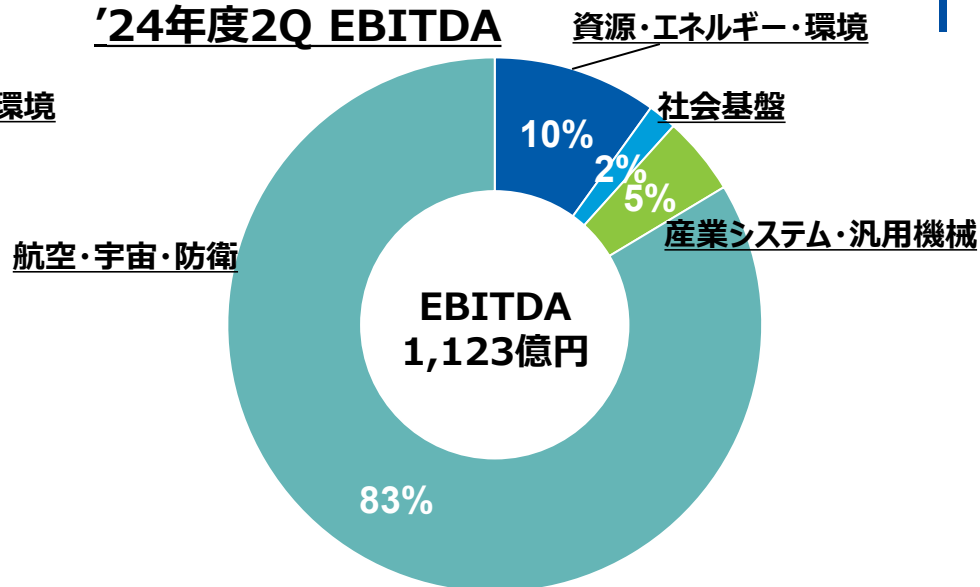
- 防衛、宇宙事業において受注高増加
- 採算の厳しい機種エンジン本体台数減少による増益効果、スペアパーツ販売増、整備費用の発生遅れにより増益

※グラフ内青文字 PW1100G-JMエンジン 追加検査プログラム影響を除く

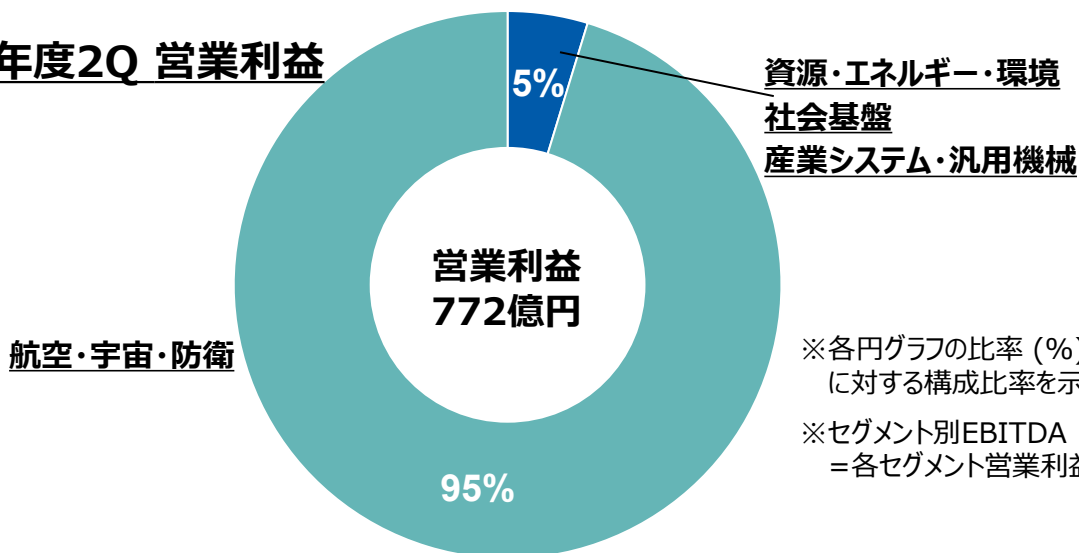
'24年度2Q 売上収益



'24年度2Q EBITDA



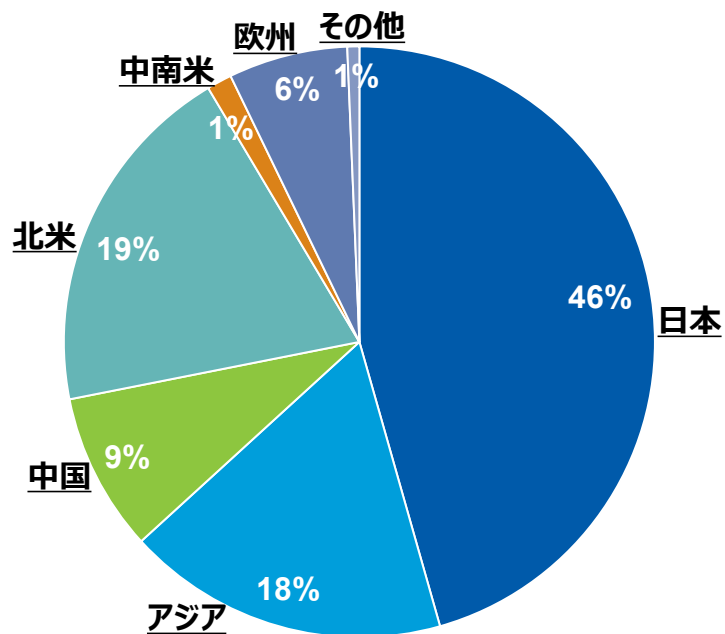
'24年度2Q 営業利益



※各円グラフの比率 (%) は、報告セグメント合計に対する構成比率を示す

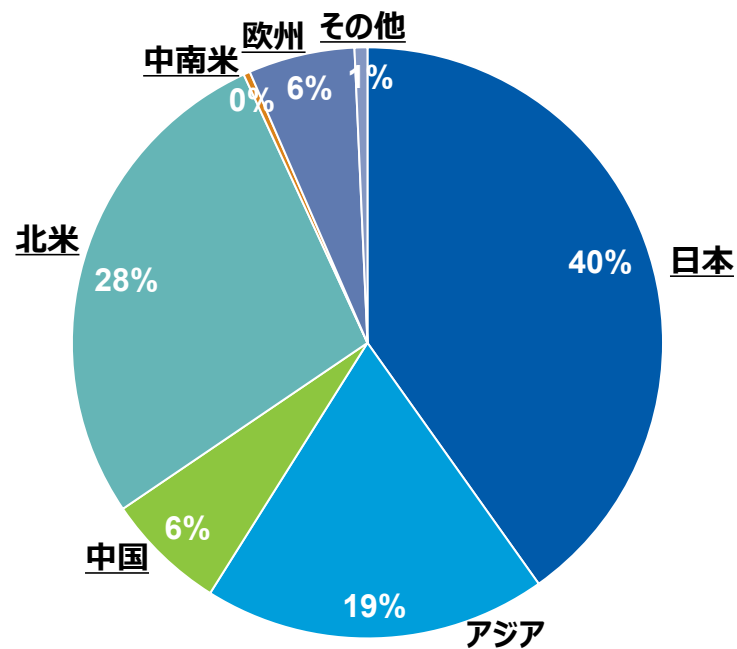
※セグメント別EBITDA = 各セグメント営業利益 + 各セグメント減価償却費

**'23年度2Q
(特別要因除く)**



海外売上収益 3,476億円

'24年度2Q



海外売上収益 4,532億円

(単位：億円)	'23年度末	'24年度2Q末	増減
資産合計	20,978	21,099	121
うち現金及び現金同等物	1,388	919	▲468
うち営業債権，契約資産	5,833	5,847	13
うち棚卸資産	4,222	4,819	596
負債合計	16,955	16,789	▲165
うち営業債務等	2,585	2,171	▲413
うち契約負債	2,041	2,275	234
うち返金負債	1,926	1,625	▲300
うち有利子負債	5,743	5,847	103
社債および借入金	4,491	4,619	127
リース負債	1,252	1,227	▲24
資本合計	4,022	4,310	287
親会社の所有者に帰属する持分	3,759	4,062	302
非支配持分	262	247	▲15
負債及び資本合計	20,978	21,099	121

キャッシュ・フロー，研究開発，設備投資の状況（2023年度2Q vs 2024年度2Q） IHI

(単位：億円)		'23年度2Q	'24年度2Q	増減
	税引前中間利益	▲1,510	626	2,137
	減価償却費	343	350	6
	PW1100G-JMエンジン追加検査プログラム損失計上見合い	1,541	-	▲1,541
	その他	129	146	16
	EBITDA	(※1) 503	1,123	619
	PW1100G-JMエンジン追加検査プログラム関連支出(※2)	-	▲90	▲90
	運転資本増減(※3)	▲1,035	▲975	60
	その他	▲283	▲132	151
	営業キャッシュ・フロー	▲814	▲74	740
	投資キャッシュ・フロー	▲313	▲252	60
	フリーキャッシュ・フロー	▲1,128	▲327	801
	財務キャッシュ・フロー	1,014	▲146	▲1,161

(単位：億円)		'23年度2Q	'24年度2Q	増減
	研究開発費	152	141	▲11
	設備投資額	284	297	13
	減価償却費	343	350	6

(※1) PW1100G-JMエンジン追加検査プログラム，IHI E&C訴訟和解影響に関する損失計上を除く。

(※2) PW1100G-JMエンジン追加検査プログラム関連支出は，従来の運転資本の増減と区別して記載。

(※3) 運転資本増減は，営業債権/契約資産/棚卸資産/前払金/契約負債/営業債務/返金負債の増減額を示す。

運転資本 = 営業債権 + 契約資産 + 棚卸資産 + 前払金 - 契約負債 - 営業債務 - 返金負債 (次ページも同様)

キャッシュ・フロー，研究開発，設備投資の状況（前回見直し vs 今回見直し）

(単位：億円)	'23年度	'24年度 前回見直し	'24年度 今回見直し	増減 今回 - 前回
税引前当期利益	▲722	1,000	1,250	250
減価償却費	707	700	700	-
PW1100G-JMエンジン追加検査 プログラム損失計上見合い	1,559	-	-	-
その他	205	100	200	100
EBITDA	(※1) 1,750	1,800	2,150	350
PW1100G-JMエンジン追加検査 プログラム関連支出 (※2)	-	▲500	▲500	-
運転資本増減	▲1,010	▲430	▲780	▲350
その他	▲117	▲120	▲120	-
営業キャッシュ・フロー	621	750	750	-
投資キャッシュ・フロー	▲516	▲900	▲850	50
フリーキャッシュ・フロー	104	▲150	▲100	50

(単位：億円)	'23年度	'24年度 前回見直し	'24年度 今回見直し	増減 今回 - 前回
研究開発費	393	400	400	-
設備投資額	712	960	960	-
減価償却費	707	700	700	-

- (※1) PW1100G-JMエンジン追加検査プログラム， IHI E&C訴訟和解影響に関する損失計上を除く。
 (※2) PW1100G-JMエンジン追加検査プログラム関連支出は，従来の運転資本の増減と区別して記載。

主要な経営指標の推移

	日本基準	IFRS							IFRS
	'18年度	'19年度	'20年度	'21年度	'22年度	'23年度	'24年度2Q	'24年度 (見通し)	'24年度 (前回見通し)
受注高	13,992億円	12,800億円	10,970億円	12,612億円	13,661億円	13,768億円	7,602億円	17,200億円	17,200億円
売上収益	14,834億円	12,631億円	11,129億円	11,729億円	13,529億円	13,225億円	7,574億円	16,000億円	16,000億円
営業利益	824億円	478億円	279億円	814億円	819億円	▲ 701億円	772億円	1,450億円	1,100億円
親会社の所有者に帰属する 当期利益	398億円	82億円	130億円	660億円	445億円	▲ 682億円	393億円	850億円	600億円
EBITDA	782億円	954億円	923億円	911億円	1,511億円	(※)1,750億円	1,123億円	2,150億円	1,800億円
営業CF	464億円	424億円	363億円	1,141億円	541億円	621億円	▲ 74億円	750億円	750億円
投資CF	▲ 792億円	▲ 855億円	▲ 404億円	279億円	▲ 523億円	▲ 516億円	▲ 252億円	▲ 850億円	▲ 900億円
FCF	▲ 328億円	▲ 430億円	▲ 41億円	1,420億円	17億円	104億円	▲ 327億円	▲ 100億円	▲ 150億円
配当	70円/株 (中間30円, 期末40円)	50円/株 (中間30円, 期末20円)	0円/株	70円/株 (中間30円, 期末40円)	90円/株 (中間40円, 期末50円)	100円/株 (中間50円, 期末50円)	-	120円/株 (中間50円, 期末70円)	100円/株 (中間50円, 期末50円)
営業利益率	5.6%	3.8%	2.5%	6.9%	6.1%	▲5.3%	10.2%	9.1%	6.9%
ROIC	8.7%	4.1%	2.2%	6.4%	6.3%	▲4.9%	-	10.5%	8.3%
ROE	11.8%	2.8%	4.5%	19.3%	11.0%	▲16.9%	-	21.2%	15.5%
CCC	97日	92日	124日	112日	120日	(※)132日	-	-	129日
D/Eレシオ	0.93倍	2.00倍	1.85倍	1.24倍	1.14倍	1.43倍	1.36倍	1.32倍	1.41倍
親会社所有者帰属 持分比率	21.0%	15.0%	16.4%	20.3%	22.2%	17.9%	19.3%	20.1%	19.3%

ROIC：(営業利益+受取利息・配当金) 税引後 / (親会社の所有者に帰属する持分+有利子負債)

ROE：親会社の所有者に帰属する当期利益 / 親会社の所有者に帰属する持分

CCC：運転資本 / 売上収益 × 365日

D/Eレシオ：有利子負債 / 資本合計

親会社所有者帰属持分比率：親会社の所有者に帰属する持分 / 負債・資本合計

(※) PW1100G-JMエンジン追加検査プログラム,
IHI E&C訴訟和解影響に関する損失計上を除く

民間向け航空エンジン 売上収益・機種別累計販売台数推移

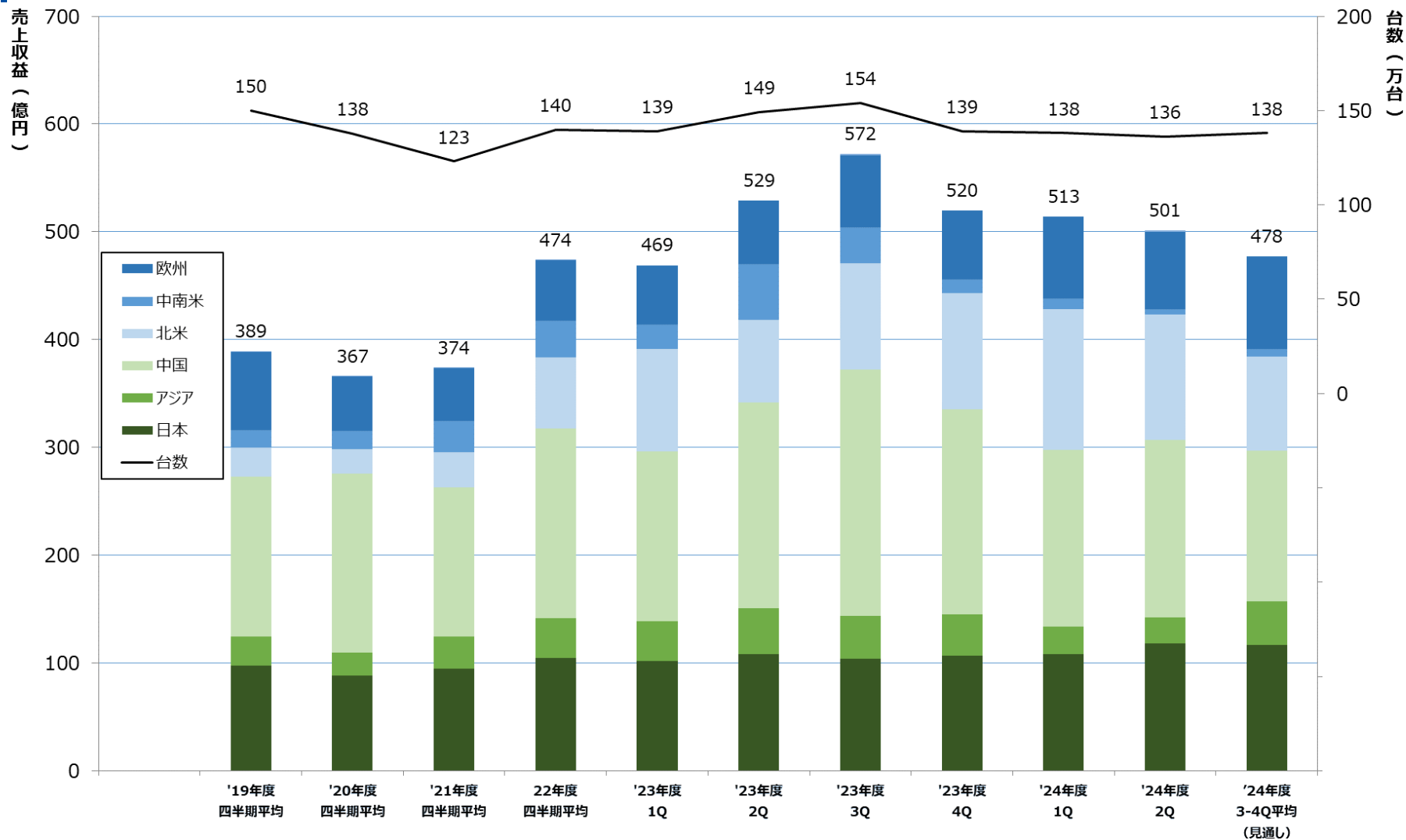
	日本基準					IFRS							主要搭載機
	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24		
											2Q累計	(見通し)	
売上収益 (億円)	2,670	2,991	2,915	2,810	3,185	2,224	1,017	1,233	2,014	970	1,843	3,200	
累計販売台数 (台)													
V2500	6,469	6,896	7,236	7,508	7,688	7,735	7,740	7,756	7,776	7,782	7,794		エアバス A319/320/321
GE90	2,039	2,257	2,457	2,617	2,715	2,824	2,885	2,925	2,968	3,029	3,058		ボーイング B777
CF34	4,156	4,471	4,821	5,085	5,331	5,611	5,798	5,926	6,085	6,201	6,262		リージョナルジェット (70~110席級)
GE9x	751	1,035	1,295	1,542	1,826	2,159	2,328	2,425	2,494	2,577	2,610		ボーイング B787/B747-8
PW1100G		16	148	398	1,058	1,784	2,144	2,585	3,146	3,821	4,154		エアバス A320neo
Passport20				13	66	142	202	269	335	406	444		ボンバルディア Global7500
合計	13,415	14,675	15,957	17,163	18,684	20,255	21,097	21,886	22,804	23,816	24,322	24,959	
単年度販売台数 (台)	1,352	1,260	1,282	1,206	1,521	1,571	842	789	918	1,012	506	1,143	

販売台数は、機体メーカーに引き渡した台数であり、工場出荷台数とは異なる。

車両過給機 地域別売上収益・販売台数推移

(単位：億円)	日本基準					IFRS						
	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24	
											2Q累計	(見通し)
日 本	375	346	389	398	446	391	354	380	418	421	226	460
ア ジ ア	275	216	158	117	110	107	85	118	149	158	50	130
中 国	243	249	485	719	631	572	665	554	702	766	329	610
北 米	18	24	33	84	116	108	90	131	264	378	246	420
中 南 米	7	34	61	74	75	66	69	115	138	121	15	30
欧 州	756	743	617	811	513	289	199	195	223	245	148	320
そ の 他	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0
合 計	1,677	1,616	1,746	2,205	1,895	1,536	1,466	1,494	1,895	2,090	1,014	1,970
販売台数 (万台)	589	536	610	790	676	600	551	492	559	581	274	550

車両過給機 地域別売上収益・販売台数推移



(1) 豊洲地区 賃貸収入の実績推移

(単位：億円)	日本基準					IFRS						
	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24	
											2Q累計	(見通し)
賃貸収入	93	101	93	92	93	94	123	121	122	120	60	123

(2) 豊洲地区 賃貸収入, 賃貸費用実績

(単位：億円)	賃貸収入	賃貸費用		差額
		減価償却費	その他	
'24年度2Q	60	27	19	13

豊洲1～3丁目地区 開発マップ

豊洲4-2街区開発計画
敷地面積：19,493㎡
2022年7月着工～2025年6月竣工予定



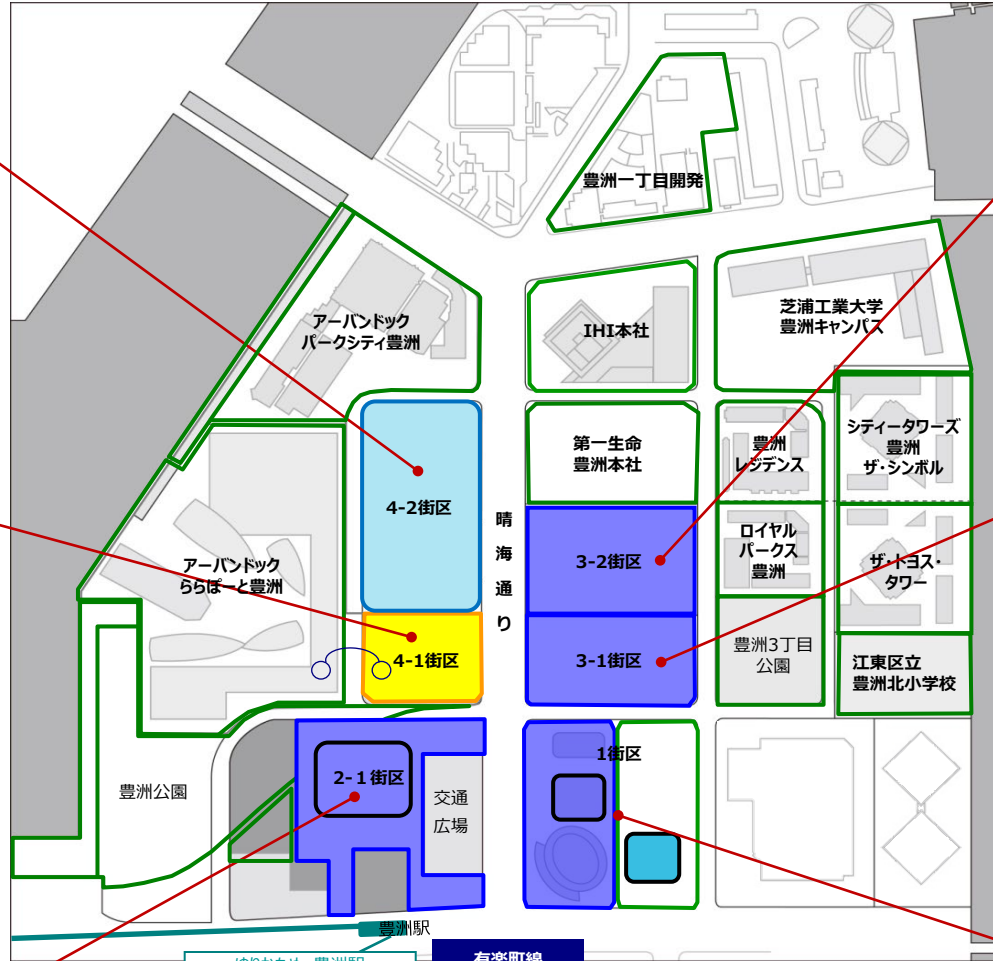
アーバンドック ららぽーと豊洲ANNEX
地上5F, 高さ約25m, 延床面積：24,721㎡
2006年10月開業



豊洲ハイツイドクロスタワー（A棟）
地上36F, 高さ178m, 延床面積約185,000㎡
2020年3月竣工



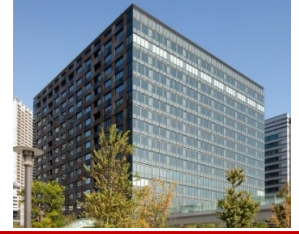
© IHI Corporation All Rights Reserved.



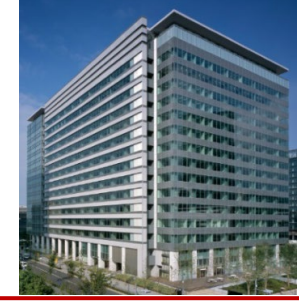
IHI所有地	約5ha
--------	------

- 建物賃貸
- 土地賃貸
- 建物賃貸(借地)
- 開発中
- 売却・寄付・交換済

豊洲フロシア
地上16F, 高さ：約75m, 延床面積：101,503㎡
2014年7月竣工



豊洲フロント
地上15F, 高さ：約75m, 延床面積：106,861㎡
2010年8月竣工



豊洲センタービルアネックス
地上33F, 高さ：約150m, 延床面積：105,448㎡
2006年8月竣工
豊洲センタービル
地上37F, 高さ：約165m, 延床面積：100,069㎡
1992年10月竣工



豊洲センタービル 同アネックス

IHI

Realize your dreams

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際に業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。